

Lion

IWATE

2016
12
Dce.



国際平和ポスターコンテスト 最優秀賞 鈴木美桜(みお) 北上市立江釣子小学校6年(江釣子LC推薦)

- 第55回東洋・東南アジアフォーラム報告
- 第2回キャビネット会議報告
- シリーズ森⑤ 北上川の源泉
- あづま海道に行く その5



続・台風10号被災状況報告

ライオンいわて
副編集長 L 小野寺 進

台風10号による被災地支援で、岩泉町の旧駅舎内にコインランドリー（洗濯機と乾燥機各3台）を設置することになり、その開所式が10月31日に行われました。

キャビネット幹事・鈴木雅彦 Lの司会のもと、地区ガバナー・金野幸造 Lが「これは岩泉龍泉洞ライオンズクラブを通じ、被災住民の要望に応えた施設であり、被災者の皆様、そしてボランティアの方々にも利用して役立ててほしい」と挨拶されました。

岩泉町の中居健一副町長からは、「温かい支援を頂き、一日も早い復旧復興に向けて頑張りたい」とお礼の言葉がありました。

そのあと、金野ガバナーと岩泉龍泉洞ライオンズクラブ会長・佐々木松夫 L、そして副町長の3人によるテープカットが行われました。この場に訪れていた乳児を抱えたご婦人が「これ

から寒い冬に向けて洗濯物を干すことができないので、乾燥機まで整えて頂き本当に助かります」と報道の方に話していたことを聞き、CAB三役をはじめ、同行した一関中央LC所属役員や事務局員もホッとした様子でした。

このことはTVや新聞で報道され、ライオンズランドリーとして多くの方々に利用して頂きたいと思いました。

付近の道路は通行止め、迂回、交互通行など、そして倒木や瓦礫、崩壊家屋、横転車両などがあり、復旧はまだままだの様相でした。国道455号から340号を、岩泉～宮古～川井と、路肩崩れや狭隘（きょうあい）な道路が続く中でしたが、ひと際美しい紅葉を見ることもできました。それは被災地の一日も早い復旧復興を願い祈っている様に感じた帰路でした。



◀左から中居健一副町長、地区ガバナー金野幸造 L、岩泉龍泉洞ライオンズクラブ会長佐々木松夫 Lのお三方によるテープカット



▶旧岩泉駅舎正面のコインランドリー室の案内表示

仙台レオクラブ ボランティア

ライオンいわて
編集委員 L 熊谷 嘉高

11月13日、332-C地区東北福祉大学レオクラブが台風10号の被災地、岩泉地区の泥かきボランティアを行うということで早速取材に駆けつけました。

当日は一関から盛岡近辺まで深い霧に覆われ、現地も霧かと思われましたが、途中から霧は晴れ、岩泉町小川支所に着いた時には快晴となっておりました。

東北福祉大学レオクラブは、仙台市内5クラブのスポンサーで今年6月に結成され、現在の会員数は59名、当日はレオクラブ23名、L7名、計30人が参加しました。

スポンサークラブ代表レオ委員長 熊谷浩幸 L(仙台広瀬LC会長)の話では、大学側が協力的で次年度からは新入生も加入し、ボランティア活動を単位制にまで考えているようで、将来は日本最大のレオクラブに成ると期待しているようです。

取材日はボランティア2日目でした。初日に足にクギを刺した学生もおりましたが、開始前の挨拶、説明等に元気よく答えておりました。

小川地区は被災から3ヶ月近くたった今も、家の中に泥が堆積しており多くのボランティアの協力が必要となっております。

学生たちは4、5人のチームとなり河川沿いの瓦礫の片付け、民家の泥かきなど、この日はこの時期にしては、珍しく暑かったので全身に汗して一生懸命作業をしていました。

昼食は2日目の作業で時間も忘れて作業をしていたので遅めのお昼になりましたが、4R1Zと石巻めぐみ野ライオンズクラブの炊き出し協力により、石巻焼きそば100人分を作って頂き皆で美味しくご馳走になりました。

レオクラブ副委員長安藤稜さんは「中学生の時に東日本大震災を経験しボランティア活動に興味を持っていたが当時は中学生だったので協力できなかったのが今回是非協力したいと思い参加しました。実際に住宅の中に入って自分が思っていた以上の状況に心が痛みました。これからもレオクラブとしてボランティア活動に頑張りたい」と話してくれました。



家の中の泥を掻き出すレオクラブ



河川沿いの大量の瓦礫



暑くなって上着も脱ぎました



元気よく作業開始前の挨拶



昼食はB級グルメ石巻焼きそば

THE 55TH OSEAL FORUM

第55回 第五十五屆東南亞獅子大會

OSEALフォーラムin香港



2016年11月10日～14日
於：香港・アジアワールドエキスポ

東洋・東南アジアフォーラム参加について

IRIZ
ZC L 猿館 伸俊

11月11日第55回東洋東南アジアフォーラムが香港にて行われ、332-B地区ガバナー金野幸造L、第一副地区ガバナー森谷潤L、キャビネット幹事鈴木雅彦Lほか11名が参加してまいりました。このフォーラムの参加数は、香港が2,039名、日本からは1,749名、18ヶ国の総参加者数は8,617名と発表され、目標数には届かなかったとのことです。

開会式が始まり、各地区ガバナーが壇上に上がり、我々が金野ガバナーも登壇。壇上の金野ガバナーは、凛としてその存在感を示していたと感じました。

会場となったアジアワールドエキスポ(AWE)は大変広く、目を見張るもので感動の連続。式典が行われたホール、そしてセミナー会場、イベント会場が用意されていました。展示コーナーや飲食ブースもあり、どこを見ても賑わっていました。

ここからはおまけですが、フォーラムの翌日にはマカオ観光へ。ポルトガルにより統治されていた過去を持つマカオは、西洋と中国の建物が混在する世界遺産の宝庫。その一部を同行したライオンたちと見学したのです。また、332-B地区の夕べでは上海料理、翌日は広東料理と、香港・マカオでの食べ物には格別の味わいを感じました。

来年はライオンズクラブ国際協会100周年記念式典が、6月30日～7月4日にシカゴで開催されます。皆様とシカゴへ行きたいと楽しみにしております。



金野ガバナー入場!



フォーラムがスタート



会場入口で記念撮影しました



香港のお寺



マカオのお寺



100万ドルの夜景をバックに



The 55th
第五十五屆東南亞獅子大會



一路岩手へ...

第2回 ゾーンチェアパーソン会議報告

会場 ベリーノホテル一関
 レポーター キャビネット幹事
 L 鈴木雅彦（一関中央LC）

キャビネット会議の前にZC会議が開催されました。公式訪問・諮問書回答・三役懇談会での内容を確認しあいました。各ゾーンでの活動状況や問題点が把握できた事が一番の成果でした。

キャビネットとして今後出来る支援について協議した

いとしました。今回第2回諮問書は従来の内容から大幅に変更しました。この事についてZCと確認しあいました。今後もZCのリーダーシップでゾーンの活性化に大きく期待致します。

第2回 キャビネット会議報告

会場 ベリーノホテル一関
 レポーター キャビネット筆頭副幹事
 L 高橋恒司（一関中央LC）

第2回キャビネット会議は、ベリーノホテル一関を会場に、去る11月17日（木）60余名出席のもと開催。金野ガバナーは、あいさつの中で「公式訪問では各地区で大歓迎を受るとともに三役懇談会にて各クラブの実情を知ることができた。楽しいクラブ運営をさらに推し進めてもらいたい。全クラブによる記念植樹の取り組みをお願いし、そのための新たな予算をつけた」と述べた。また「いわて国体への各クラブの積極的な取り組みとご支援に感謝申し上げる。台風10号による被災地の方々およびクラブへお見舞いを申し上げる。LCIF緊急援助金1万ドル申請をはじめ各クラブの支援活動に対して感謝と御礼。岩泉地区へは、要望の強かったコインランドリーの設置ができた。ライオンいわて誌編集委員の努力により同誌の記事が全国版ライオン誌に掲載された。全体的に積極的な活動を展開頂いている」と経過報告。さらに今後の取り組みとして、「会員仲間を増やそう、レガシープロジェクトをさらに進めていきましょう」と行動指針も示した。

以降、各自次のような報告・発表を行なった。

- ◆キャビネット幹事・鈴木雅彦L「第1回キャビネット会議議事録の確認」「台風10号被災地区への視察訪問をはじめとする一連のキャビネット対応についての経過説明。10月までの332-B地区内各クラブからの支援事業内容、義援金状況。333-E地区（茨城）地区ガバナー中嶋正昭Lからの義援金100万円をはじめとする他地区からの義援金状況」
- ◆GMT地区コーディネーター米谷春夫L「各クラブごとの会員状況の分析結果」
- ◆GLT地区コーディネーター千葉龍二郎L「研修の重要性、若手育成セミナーを4～5月に計画していると発表」
- ◆FWT地区コーディネーター中村さと美L「FWT全日本女性フォーラム参加報告」
- ◆地区100周年記念コーディネーター吉田昭夫L「100周年

記念奉仕チャレンジ（CSC）」

→未取り組みのクラブは、足並みをそろえて頂けるようにと要請。

続くゾーンチェアパーソン報告は以下のとおり。「台風10号では鈴木幹事からの早い情報が役に立った。被災地に近いクラブとして緊急必需品（消石灰98袋・作業服100着）を届けた。岩泉町からの御礼の連絡を受け感銘し、ライオンズムの思いを新たにしたい」「過疎地での会員増強の難しさや、クラブの規範は時代と共にどこまで簡素化するかの判断に悩む」「今年ライオンズクラブ100周年、いわて国体といったイベントに伴うアクティビティは、クラブの個性が出るような工夫をした」「クラブ訪問を通じて、それぞれのクラブの会員間の親睦、地域密着した奉仕活動、歴史ある継続事業などを改めて知る機会になり、その存在感に感服した」「例会訪問はそれぞれのクラブの個性的な側面を発見する機会になった」「会員獲得へ繋がるアイデアとして、定例会訪問に会員以外の家族も参加していただき、交流を通じて会員になってもらう」「東日本大震災の仮設住宅の取り壊しに伴い、校庭整備・記念植樹などを計画している」等々。さらにキャビネット会計・芦萱敬一Lによる会計報告、次年度第二副地区ガバナー推薦・指名となった矢野々陸子Lの挨拶それぞれあり、ライオンズの光「1本の明かり」を交えながらライオンズクラブへの思いを語った。議案8件はすべて原案通り承認され、閉会となった。

審議議案

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 前年度地区会計決算報告の承認並びに第63回年次大会の議案とすることの件 |
| 第2号議案 | 第63回年次大会について |
| 第3号議案 | キャビネットローテーションの確認について |
| 第4号議案 | 次年度地区ガバナー選出手続きについて |
| 第5号議案 | 次年度第一副地区ガバナー並びに第二副地区ガバナー選出手続きについて |
| 第6号議案 | 2016～2017年度第二副地区ガバナー推薦・指名について承認を求める件 |
| 第7号議案 | 台風10号による土砂災害についてLCIF緊急援助交付金を含む支援活動報告書の承認を求める件 |
| 第8号議案 | 第3回キャビネット会議開催について |

国際平和ポスターコンクールの審査を終えて

元一関小学校校長・美術教師
元一関地方造形教育部会長 佐藤恵一

今年度の国際平和ポスターのテーマは、「平和、万歳！」です。小学校高学年、中学校1・2年生は、このテーマをどう考え表現しているのか、楽しみに審査にあたりました。最優秀賞を受賞した鈴木美桜（みお）さんの作品は、音楽を通じて平和を願う構成になっており、たくさんの作品の中で、個性的な作品でした。画面が豊かで心のこもった、喜びにあふれた作品になっていました。なお、賞に入りませんでした。日々の学校生活を大切にす

作品やひまわりの花を描いた作品にも、思わずじっと見入ってしまいました。

今回審査した作品は、自分の表現したい意図が明確で、色や形で端的に表現され、見る人に、そのことを語りかける力をもっている作品が多くありました。根気強く一生懸命取り組んだ児童生徒の皆さん、ご指導いただいた先生方、温かく見守っていただいたお家の方々、すてきな作品を応募いただきありがとうございました。

各クラブ記念式典報告

CN40周年記念式典を終えて

北上国見 LC 会長 L 佐藤好徳

立冬を翌日に迎える寒い中、駐車場係がお客様を誘導。11月6日（日）プランニュー北上の玄関前ではデッキイ音が！ 照井勉 L が指導している相去藩境太鼓 10 名が元気に太鼓を打ち叩く中、ロビーでは LL 12 名がお出迎えです。

2階ホワイエでは北上ウィンドアンサンブル 18 名とフルート三重奏の心和む演奏。

式典前には 40 周年を迎える節目に、友好提携から 19 年を迎える秋田由利本荘市本荘 LC との姉妹提携、東日本大震災以降キャビネット指導の下に支援を続けてきた陸中山田 LC との友好提携の 2 つの調印式が行われました。

式典 5 分前、総勢 308 名が集う会場に八重樫守民 L 委員長を先導に、ご来賓、ガバナーと LC 関係者が喝采の拍手の中で入場！式典は粛々と時間通りに進行されました。

祝宴では家族会員の堀ノ内孝雄 L が熱唱。突然のステージにお客様もビックリ！一曲の予定でしたがアンコールの声援が飛びました。台湾潮州獅子会から紹興酒の差入れ、秋田本荘の地酒、何故か沖縄の泡盛まであり、鱈鱈スープをはじめ料理が美味しいとお酒も進みます。時間は早い！「また逢う日まで」の合唱。会場の輪が二重三重に広がりました。今回の式典・祝賀会は大成功の内に終了し、準備の苦労が報われました。

あらためて当クラブの結束力を感じると共に、ライオンズの集いに感謝する一日となりました。皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

CN40周年記念式典報告

大槌 LC L 佐々木章夫

11月20日（日）、大槌ライオンズクラブ CN40 周年記念式典と祝宴を、三陸花ホテルはまぎくにおいて開催しました。多くの来賓の方々、そして参加者の皆様とともにこの日を迎える事ができ、感謝しております。

CN40 記念事業としては、おおつち野球スポーツ少年団へユニホーム一式を寄贈しました。大槌の未来を担う子供たちが喜んでくれればと願っています。今後も「We Serve」の精神を忘れず、活動していきたいと思ひます。

CN50周年記念式典

平泉 LC L 村上耕一

11月20日（日）平泉小学校体育館において、平泉 LC CN50 周年を挙る。姉妹クラブである和歌山県の田辺 LC の皆さんをはじめ、200 名のご参加をいただきました。記念事業として、町立長島小学校合奏団へ楽器を寄贈し、当日はそのお披露目を兼ねて式典冒頭で演奏。式典ではたくさんの感謝をみなさんの前で表しました。なかでも、チャーターメンバーの 50 年の活動に対し、現役である泉信平 L に感謝状をお贈りできたことは感慨深いものでした。今後も「We serve」の精神で歩みます。

シリーズ 森のなかのいわて…共生の道

第五回 岩手の母なる川「北上川」 その源流を訪ねて

北上川は我が県の北部を源に、北上高地と奥羽山脈から流れるいくつもの支流をまとめながら、県のほぼ真ん中を南下し、宮城県へ繋がっていく。支川と合流した流域面積 10,150km²、流路延長 249km、流域内人口 140 万人弱（国交省資料）の東北最大の河川「北上川」。その源流を訪ねて。

弓弭（ゆはず）の泉 その伝説

「弓弭（ゆはず）の泉」は、北上川の源として古くから知られています。「弓弭」とは弓の先端部分のことですが、これには次のような伝説が伝えられています。

時は平安時代天喜五年（一〇五七年）六月、この地方が「前九年の役」といわれる戦乱状態にあった時のお話です。朝廷軍の将軍・源頼義、義家父子がこの地を平定するため軍隊を進めていましたが、炎暑が続いていたため飲み水がなく、兵馬は苦しんでおりました。そこで、天に拝し観音に念じて、源義家は、持っていた弓の「弓弭」で岩を突いたところ、清水が湧き出てきました。おかげで兵馬はのどを潤すことができ救われたという伝説です。

その後、康平五年（一〇六二年）、義家は敵将・安倍貞任を討つことができ、その帰りにここに堂を建立し、自分の髪の中に入れて戦ったという小さな観音像を安置したと言われております。これが「御堂観音」の縁起となっています。

なお、義家が「弓弭の泉」を掘り当てたこの場所は、平安時代の初期、大同二年（八〇七年）に朝廷軍の将軍・坂上田村麻呂が丈六（約 4 m）の立木十一面観音を自らが刻んで安置して祈願所とした場所であるとも言われております。

この「弓弭」で湧き出た清水は、「弓弭の泉」として人々から崇められ、古来枯れることなく北上川に注ぎ、今なお悠久の流れとなって太平洋の大海原へとつながっています。



もちろん飲めます。



地図 国交省

御堂観音

詳しくは北上山新通法寺正覚院と称する天台宗の寺院。通称は御堂観音。

寺伝によれば、清水が湧出しているところから、古くから人々が清水を守る神々を祀り、そこに仏堂が建立されて、観音像が安置されたものと思われ、起源は相当古いものと考えられる。平安時代に蝦夷地の開拓に際して、天台宗の僧侶などが下って開いたものと思われ、平安時代にはすでに堂が建てられ、堂守が住んでいた模様である。宝暦8年(1758年)、この堂が焼失すると、八幡太郎義家に由緒のある堂と言うことで、時の藩主が復興を作事奉行に命じて行わしめた。しかし、その堂も昭和43年(1968年)の雷火により焼失し、現在の堂は昭和45年(1970年)に再建されたものである。



左から岩手 LC 佐々木光雄 L、会長丹野洋一 L、八戸保彦 L

岩手 LC のみなさんの思い出では、小さい頃は、この境内で相撲大会が催されていたそうです。元朝参りなどで賑わっていた昔が懐かしいとお話もありました。

ライオンいわて、今年度の特集として、各地の「森」を取材させてもらっていますが、今回の取材は、「北上川」の源泉だけでなく、「森」の源の取材でもありました。

また、筆者にとって岩手町は母親の生家があり、「私自身」の源の取材にもなりました。
(ライオンいわて 編集委員 L 村上 耕一)



北上川の「源流の地」岩手 LC と「河口の地」石巻 LC では、1977年3月に姉妹クラブの提携が成され、その交流は現在に至る。

連載

あづま海道を行く —その5—



黒田助千手観音と北限のカヤ

奥州市には古来「東街道」がある。別名清衡街道、あるいは蝦夷道とも称され、生活道路として使われてきた。前沢区生母の天王地区を基点に山沿いに黒石の鶴城に至り、さらに羽田の出羽神社を目指す道だ。我々の「あづま海道」の企画からすれば、その道を歩むのが本来の形なのだが、世の中そんなに甘くはなかった。

例えば、黒石の町から県道 197 号を阿原山方面に向かい、東北新幹線架橋の手前に「ふるさと名所五十景—東街道」の標柱があったので左折し進んだ。しかし 100 m ほど行くと道路上に草が生い茂り、これ以上は危険と判断し県道に引き返した。通りがかりの方に「この東街道は高清水に進み、黒田助に行けますよね」と尋ねたら「確かに道はあるが、無理、無理」と却下された。

そんなわけで東回りに谷地、長田、そして飛沢から左折し 7 分ほどで、今日の目的地のひとつである黒田助千手観音堂にたどり着いた。

この堂は最初、黒田山千養寺として慈覚大師

が嘉祥 3 年 (850) に開基したと伝わる。大師はこの場所を訪れた時、神示を得て丈七尺 (2.1 m) 余の千手観音を刻み、庵を建立し安置したという。また天仁元年 (1108) には藤原清衡公が九尺 (2.7 m) 四面の本堂を再建したとも伝わる。

現在は中尊寺の末寺であり、奥州霊場三十三カ所第十九番札所となっている。

この寺の道向いに奥州市指定天然記念物「北限のカヤ」が神々しくそびえている。カヤは本州北部から鹿児島県の屋久島まで分布する常緑高木。自生地としては気仙郡が北限とされ、黒田助のカヤが自生であるかは不明だが、同緯度上にあることには間違いない。樹高は 15 m あり、樹齢 500 年と推定される。

また、このカヤの樹のすぐ傍に小さな池があり、「ゲンジボタルの里」の看板が立つ。池の周りは花壇となっており、地元の「ホタルの会」の方々が手入れをしているという。夏、ホタル舞う季節に訪れたい場所だ。



中尊寺の末寺である黒田山千養寺



樹齢 500 年の北限のカヤ

羽黒山 出羽神社

黒田助から一路江刺方面へ向かう。ふれあいの丘公園の手前にある興郷塾（こうきょうじゅく）椎茸栽培センターを過ぎ、山の神社から左折、羽田地区の本道に入ると、北方に羽黒山が見えて来た。黒田助から出羽神社の鳥居まで約5kmの道程だった。

出羽神社を参拝するには、現在の県道14号線、JR東北新幹線と並行して走る東側の旧道を新幹線水沢江刺駅あたりまで進む。そこから東正面に石鳥居があるが、車で行くには100mほど南にある脇参道を走行、5分程で山頂の駐車場に着く。

思っていたより大きく風格のある神社である。それもそのはず坂上田村麻呂が勧請した神社なのだ。その由来を解説板のまま紹介する。

出羽神社

延暦年中（797頃）坂の上の田村麻呂将軍が、この地方の大將アテルイを征伐するため山形の出羽三山、羽黒山権現に立願し、征討の功を得たので、この山に羽黒権現を勧請した。

康平の頃（1060）源義家公の再興により江刺

郡の総鎮守となり、明治初期までは羽黒山大権現と称し、祭神は山形と同じ稲倉魂命（うかのみたまみこと）で衣食住の神である。

神社を右手にさらに奥に進むと、そこはアテルイ・モレ顕彰の地となっていた。阿弭流為・母禮慰霊の碑が建立され、一番奥の高台は古塚という。かつて愛宕神社が建てられてあったが、明治初年の頃、この一帯を発掘した時、古刀や鉄器などが出土した。この古塚には石堰が埋められており、これを発掘すれば、血の雨が降るとの伝説があり、明治の時も雷雨にみまわれ、埋め戻したという。

今、その古塚には物見やぐらが建てられている。階段がないので、登ることはできないが、アテルイがこのやぐらに立ち、奥羽山脈、胆沢平野を望み、田村麻呂との一戦に備え「護るべし、蝦夷は我々の国なり」と宣言している声が、風のなかに聴こえてきた。

（参考文献：水沢ふるさと名所五十景）

ルポ／梅木 隆詩



出羽神社の鳥居



古塚の地に建てられた物見やぐら



稲倉魂命祭神の出羽神社本殿

★ ★ 各地区アクティビティ紹介 ★ ★

通学路落ち葉清掃事業

11月15日(火)、午後2時から3時半まで、10名の会員で通学路の落ち葉清掃を行った。場所は町内の小学校に通ずる今泉街道の中の地元の人たちから「沢の入り」と呼ばれている場所である。ここは、日蔭のカーブの坂道で、毎年この時期大量の濡れ落ち葉が道路脇に吹き溜まり、歩行者にとってもまた車にとっても滑りやすい危険な状況を生み出す。幹線道路ではないが、そのためダンプトラックも抜け道として多く通行利用しており、また、小学校に近い所

東山ライオンズクラブ会長 L 高橋 政智

なので児童の送迎の自家用車も多数通行している。狭い道路の歩道が濡れ落ち葉で埋め尽くされていると、徒歩通学の児童にとっては大変危険である。それに、車にとっても危険である。当クラブの今年で3年目となるこの清掃事業は、10トンにも及ぶ濡れ落ち葉を除去し、道路を通りやすく清掃し、地域の人々の通行の安全を願うものである。今後も継続して清掃活動をしていく方針である。

桜の森に未来を託す

平成25年9月25日、清流猿ヶ石川のほとりにテントを張りめぐらし、百数十名参加のもとに当クラブCN35周年式典を開催しました。このCN記念事業は「ライオンの森」を造成し、桜の数ある品種を植えようという構想からでした。荒廃する山に満開の花を咲かせ、今の子供たちに故郷の思い出になる場所、散策できる森にしようというロングランの事業です。そこで、会員が所有する山林2^㉗を伐採整備し遊歩道を造り、小学生の卒業記念に植樹する、別名「桜香の森」を造成。そして、平成25年3月から

東和猿ヶ石ライオンズクラブ 会長 L 小原 茂明

東和小学校卒業生が毎年4本ずつ植樹したのが始まりです。子供たちは、標柱の根元にタイムカプセルを埋め込み、成人式に開けるのだと交代で土を覆っていました。

以来、東和小学校の卒業記念植樹会を実施していますが、4年目となる今年は11月2日に6年生67名が参加、4本の桜苗木を植栽しました。バス代等費用は36,132円要しましたが、桜と共に子供たちの成長に未来を託せば納得するでしょう。

地域の福祉活動支える

11月の第3日曜日、恒例の安代地区社会福祉推進協議会主催の歳末助け合いチャリティ芸能大会が開催されていますが、今年も安代ライオンズクラブは出演してチャリティを盛り上げました。出演は保育園児、小学生、中学生から各種団体、個人のほとんどが唄や踊りの中で寸劇を披露して一番の人気演目になっています。会場は田山と荒沢の2会場同時進行で行われ、出店も出て地区のお祭り気分でした。

安代ライオンズクラブ L 種市 郁雄

今年は「コイ女房」という演目で2会場を掛けもちし、観客を楽しませて地域の世代間の交流に一役も二役もかいました。練習は4日ほどの日数でしたが、老体に鞭打って頑張りクラブ内の団結を深めました。

ここでの益金は共同募金会への寄付と地区社協の福祉活動費に充てられていますが、これからも地域の福祉活動を応援できればと考えています。

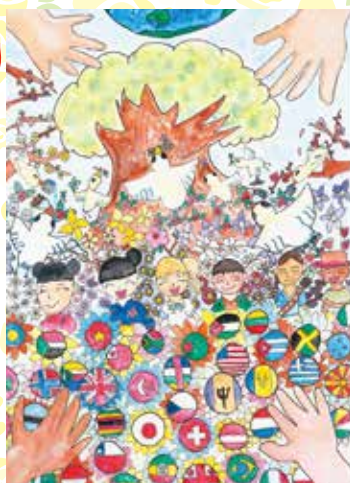
★ 国際平和ポスターコンテスト ★

第29回国際平和ポスターコンテストの審査会が11月21日、一関市立狐禅寺市民センターを会場に行われました。今回も岩手県内の小、中学生（11歳～13歳）の児童生徒達から74点の作品が寄せられました。今年のテーマは「平和、万歳！」。審査員長に元一関小学校校長で美術を教えていた佐藤恵一先生を迎え、選考の指導をして頂きました。キャビネット審査員6名も沢山の作品を食い入るような目で真剣に審査、上位13作品が選出され、最優秀賞1作

品、優秀賞2作品、の計3作品が複合地区の審査に進む事になりました。佐藤先生は「子ども達は平和をどのように想像しているのかを考えました。平和ポスターと言えばハト、地球を描く作品が多く、これで良いのか…と思い、今回は音楽、歌で世界をつなぐをテーマにした作品を選出しました」とおっしゃっていました。当332-B地区から世界に向かって発信される作品が選ばれる事を期待します。

(文/編集委員 L 伊藤 和江)

優秀賞



八重樫真優(まゆ)
北上市立江釣子小学校6年(江釣子LC推選)



小野笑(えむ)
奥州市立水沢中学校1年(水沢中央LC推選)

ガバナー特別賞



佐藤綾奈(あやな)
金ヶ崎町立金ヶ崎小学校6年(金ヶ崎LC推選)



村田優木(ゆい)
紫波町立紫波第一中学校2年(紫波LC)

キャビネット特別賞



小山歩美(あゆみ)
一関市立興田小学校6年(大東岩手LC推選)

審査委員長特別賞



高橋力聖(りょうま)
盛岡市立仁王小学校6年(盛岡中津川LC推選)



島崎孝太郎(こうたろう)
盛岡市立土淵小学校6年(盛岡南LC)

佳作

- 新渡戸悠斗(ゆうと) 花巻市立石鳥谷中学校1年(石鳥谷LC)
- 奥桜介(おうすけ) 盛岡市立仁王小学校6年(盛岡中津川LC)
- 千田彩生(あやみ) 金ヶ崎町立金ヶ崎中学校1年(金ヶ崎LC)
- 菊池智尋(ちひろ) 北上市立笠松小学校6年(北上LC)
- 佐々木彩那(あやな) 八幡平市立西根第一中学校1年(西根LC)



作品選考の様子

10月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡 LC	3日	復興支援 釜石訪問 買い物ツアー
	8日	世界ライオンズ奉仕デー 護国神社清掃・清掃用品寄贈
	9日	盛岡レオクラブ ひかりの箱街頭募金協力
	20日	1R1Z 合同 ACT・台風 10 号被災地支援募金拠出
盛岡不來方 LC	7日	世界ライオンズ奉仕デー 盛岡城跡公園大広場清掃奉仕
	22日	アイバンク街頭 PR に協力
	25日	直接献血協力
	26日	1R1Z 合同 ACT・台風 10 号被災地支援募金拠出
盛岡中津川 LC	8日	世界ライオンズ奉仕デー 南部藩墓地清掃作業
	22日	アイバンク街頭 PR に協力
	28日	1R1Z 合同 ACT・台風 10 号被災地支援募金拠出
	31日	盛岡レオクラブ スポンサー協力金
盛岡観武 LC	15日	献血推進活動
	22日	アイバンク街頭 PR に協力
	24日	直接献血協力
	28日	台風 10 号被災地支援募金活動
	28日	1R1Z 合同 ACT・台風 10 号被災地支援募金拠出
盛岡南 LC	9日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃奉仕
	22日	アイバンク街頭 PR に協力
	20日	1R1Z 合同 ACT・台風 10 号被災地支援募金拠出
滝沢 LC	13日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃活動
	17日	LCIF \$ 1000 献金
	18日	1R1Z 合同 ACT・台風 10 号被災地支援募金拠出
玉山姫神 LC	4日	世界ライオンズ奉仕デー ライオンズ公園整備
	15日	台風 10 号被災地支援募金呼びかけ
	28日	1R1Z 合同 ACT・台風 10 号被災地支援募金拠出
1R2Z		
岩手 LC	2日	岩手町秋まつり希望郷いわて国体記念山車作成とパレード運行
	6日～10日	いわて国体ホッケー競技大会協力
	23日	岩手ライオンズカップ野球大会
	29日	献血推進活動
二戸 LC	4日	地域安全「ポスター」と「書」コンクール後援と審査
西根 LC	9日	献血推進活動
	13日	社会福祉協議会創立 10 周年記念式典
	15日	西根ライオンズカップ少年野球大会
	29日、30日	西根ライオンズカップ小学生バレーボール選抜交流大会
	29日	薬物乱用防止教室
30日	西根ライオンズカップ争奪ミニバスケットボール大会	
安代 LC	-	
2R1Z		
花巻 LC	1日	いわて国体 2R1Z 統一 ACT 清掃奉仕
	15日	世界ライオンズ奉仕デー 自転車道の清掃
	30日	花巻市少年剣道親善大会

紫波 LC	15日	献血推進活動
	15日	第 2 回薬物乱用防止 PR 活動
石鳥谷 LC	8日	世界ライオンズ奉仕デー 石鳥谷レオとの合同清掃
大迫早池峰 LC	16日	ルンビニー祭資金援助
花巻東 LC	1日	いわて国体 2R1Z 統一 ACT 清掃奉仕
	26日	福祉バザー推進會
	30日	花巻市少年剣道親善大会
東和猿ヶ石 LC	16日	ライオンズの森 (桜香の森) 除草作業
	28日	薬物乱用防止授業
矢巾 LC	24日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	30日	チャリティバザー (事業資金獲得)
	30日	献血推進活動
	30日	薬物乱用防止 PR 活動
	30日	ひかりの箱募金活動
2R2Z		
北上 LC	9月 1日～30日	資源回収リサイクル活動
	7日、21日	献血推進活動 (3 箇所)
	14日	上野中学校吹奏楽部「全国大会」出場支援
	29日	レオと合同資源回収リサイクル活動
和賀 LC	9月 30日	資源回収
	10日	愛宕山記念植樹
	15日	第 31 回ふれあい福祉スポーツ大会
	21日	献血推進活動
北上国見 LC	9日	早朝清掃奉仕
	12日	萩の江「交流会」
	19日	献血推進活動
	20日	直接献血
	28日	白ゆりの球根植え付け作業
江釣子 LC	7日、14日	資源回収 (事業資金獲得)
	9日	献血推進活動
	15日	第 31 回ふれあい福祉スポーツ大会
3R1Z		
水沢 LC	9月 30日	「いわて国体」安土幕寄贈
	13日	地域安全・暴力団追放胆江地区大会
	14日	奥州市社会福祉大会
	28日	台風 10 号義援金
江刺岩手 LC	4日	ひかりの箱募金
	6日	赤い羽根共同募金「街頭募金ボランティア」
前沢 LC	7日	台風 10 号への義援金送金
	1日	白梅クリーン作戦
	13日	暴力団追放胆江地区民大会
	16日	献血推進活動
	20日	白梅の園の清掃奉仕活動
水沢中央 LC	4日	いわて国体協賛 ライオンズ奉仕デー 水沢公園時計塔周辺清掃
	27日	薬物乱用防止講演會
	28日	台風 10 号義援金送金
金ヶ崎 LC	3日	赤い羽根共同募金運動街頭活動
	7日	本の寄贈
	10日	献血推進活動
	15日	第一小学校学習発表会
	25日	台風 10 号義援金送金

胆沢岩手 LC	7日～9日	いわて国体カヌー競技場内清掃ボランティア活動
	11日	赤い羽根共同募金
3R2Z		
一関 LC	27日	世界ライオンズ奉仕デー ライオンズの森清掃奉仕活動
	28日	薬物乱用防止講座支援
	29日	歳末助け合いチャリティバザー
	30日	一関地区柔道選手権大会
平泉 LC	6日	CN50 記念事業 マーチングバンド楽器贈呈
	9日	幸得会第 24 回黄金祭協力
花泉 LC	21日	台風 10 号被災地支援 岩泉に支援物資
	30日	カーブミラー清掃
	30日	花泉ライオンズ杯ソフトボール大会
一関中央 LC	1日、15日	ピンクリボン啓蒙活動
	2日	わんぱく寺子屋
	8日	世界ライオンズ奉仕デー 清掃活動
	8日	台風 10 号被災地支援 岩泉町へ支援物資
	18日	盲導犬との集い in 一関
	31日	台風 10 号復興支援 コインランドリー開所式
一関厳美溪 LC	9日	名勝天然記念物指定「厳美溪」清掃活動
4R1Z		
千厩 LC	5日	薬物乱用防止講座
	8日	チャリティバザー
	15日	一関東地区防犯少年柔道剣道大会
	18日	献血推進活動
大東岩手 LC	9月 6日	献血推進活動
	9月 16日	熊本地震義援金の実施
	9月 22日	いわて国体 LC クリーン作戦
東山 LC	-	
藤沢岩手 LC	4日	献血推進活動
川崎岩手 LC	15日	川崎市多摩区民祭でふるさと物産品販売支援
	15日	多摩区民祭で東日本大震災復興募金活動
	20日	多摩区民祭で募金を陸前高田市に送金
室根 LC	23日	健康教室
4R2Z		
大船渡 LC	1日、21日	ライオンズ農園の野菜を大洋学園に届ける
	22日	大船渡 LC 杯市民総参加チャリティグランド ゴルフ大会
	28日	声の図書館の点検と整備
陸前高田 LC	15日	献血推進活動
住田 LC	4日	有住保育園児の葉拾い 協力
	5日	世田米保育園の葉拾い 協力
	18日	住田 LC 会長杯グランドゴルフ大会
	28日	献血推進活動
大船渡五葉 LC	10日	みどり町公園草刈奉仕活動

5R1Z		
宮古岩手 LC	28日	岩手県暴力団追放県民大会・暴力団追放宮古 地区大会
久慈 LC	16日	久慈中学校吹奏楽部へ楽器購入費を贈呈
	16日	久慈市へ三船十段胸像を贈呈
	16日	久慈市国体推進へエアアーチを贈呈
陸中宮古 LC	2日、11日	レディースの会奉仕活動 宮古市老人介護施設桜ヶ丘訪問
	3日	赤い羽根共同募金街頭啓発活動
	12日	世界ライオンズ奉仕デー ライオンズの森草刈作業
	19日	第 19 回百獣の王ライオンコンペ (事業資金獲得)
	28日	岩手県暴力団追放県民大会・暴力団追放宮古 地区大会
田野畑 LC	25日	台風 10 号被災支援 田野畑村へ義援金
岩泉龍泉洞 LC	2日、9日	332A 弘前東奥 LC 被災地支援協力、住宅床 下泥上げ
	8日	3R2Z 支援物資支援協力
	21日	安家地区避難所支援物資
	31日	被災者支援コインランドリー開所式
	31日	小川地区社会福祉協議会支援物資
5R2Z		
釜石 LC	3日	CN51 記念事業 FC 釜石に活動助成金
	3日	CN52 記念事業釜石市図書館へ図書寄贈
	10日	世界ライオンズ奉仕デー 尾崎神社清掃活動
	17日	台風 10 号への義援金送金
	19日	LL 奉仕活動
	22日	桜の植樹
	28日～30日	商工祭 レオクラブコーナー開設協力
遠野 LC	5日	リサイクル品の回収
	8日	献血推進活動
釜石リアス LC	1日	世界ライオンズ奉仕デー・いわて国体支援 清掃活動
大槌 LC	20日	使用済み切手 1000 枚送付
	30日	大槌町仮設住宅に食料支援、布団乾燥サービス
陸中山田 LC	-	
ライオネスクラブ		
西根 LS	29日	薬物乱用防止教室
レオクラブ		
盛岡 LEO	-	
早池峰 LEO	-	
石鳥谷 LEO	8日	LC との合同清掃活動
北上 LEO	29日	LC との合同訪問型資源回収
一関二高 LEO	-	
釜石 LEO	10日	LC と合同 尾崎神社清掃奉仕
	29～30	商工祭 レオコーナー開設

会員動向

10月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入 / 再入 / 転入)
金ヶ崎	平野 達 男
胆沢岩手	伊藤 顕 利
一関厳美溪	佐藤 洋 子
久慈	間 則 明
陸中宮古	菅 原 則 夫
田野畑	中 山 哲 子
	島 山 明 夫

10月 LCIF \$1000 献金

クラブ名	会員氏名	MJF 回数
滝沢	佐藤 光 保	1
和賀	高橋 敏	3



アクティビティ フォトグラフ

大東岩手LC



空き缶拾い

石鳥谷LC・石鳥谷レオLC



石鳥谷レオと合同清掃活動

室根LC



健康教室

江釣子LC



江釣子LC 和賀LC 合同 ACT

金ヶ崎LC



赤い羽根募金活動

花泉LC



花泉ライオンズクラブ杯
ソフトボール大会

安代LC



チャリティ芸能大会

北上レオ



リサイクル活動

花巻東LC・花巻LC



花巻市少年剣道観善大会

お知らせ

クラブ名簿の内容に変更がありましたのでお知らせいたします。
金ヶ崎ライオンズクラブ クラブ事務局員 菅原祐子 クラブ携帯電話番号090-7321-6089

《表紙の写真：国際平和ポスターコンテスト 最優秀賞》

北上市立江釣子小学校6年の鈴木美桜さんの作品が最優秀賞に輝きました。世界各国の人たちが音楽を楽しんでいる様子が生き生きと描かれています。

編集後記

ライオンいわて誌での「L(ライオン)」の表記についての告知

話し言葉として、自称の場合は「所属 L〇〇」、他称の場合は敬称として「〇〇L」と使われているのは共通認識となっております。しかし、文章にする場合は肩書にも敬称の意味がありますので、書き手によっては「L」が名前の前だったり後ろだったり統一されていないのが実情です。そこで弊誌では、遅まきながら、332-B地区ガバナー金野幸造 Lの了解の下、表記は「肩書・氏名・L」の順序に統一することに致しました。例えば、重複敬称にならないよう使用するために「岩手県知事 達増拓也 様」と表記すると同様に、「キャビネット筆頭副幹事 高橋恒司 』といたします。皆様にもご了承くださいますよう、お願いします。

(「ライオンいわて」編集委員長 L 菊地慶矩)

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行日 2016年12月15日

発行人 L 金野幸造

編集長 L 菊地慶矩(一関中央LC)

副編集長 L 小野寺進(一関中央LC)、L 佐藤正彦(一関LC)

編集委員 L 村上耕一(平泉LC)、L 菅原徳哉(花泉LC)、

L 熊谷嘉高(花泉LC)、L 菅原公正(一関中央LC)

L 伊藤和江(一関蔵美溪LC)

印刷 川崎印刷株式会社 〒029-4194 西磐井郡平泉町平泉字佐野原21

TEL:0191-46-4161 FAX:0191-46-4165

E-mail:kiyoe.s@kpc.co.jp

キャビネット事務局 〒020-0022 盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号

TEL:019-621-1415 FAX:019-621-1420

E-mail:office-332bmoreioka@almond.ocn.ne.jp